

高校改革プランについて

6月24日に県立高校再編整備候補案において、本校は第2通学区の多部制・単位制高校へ転換することが発表されました。県教育委員会の皆さんは、あくまで「たたき台」と言っていますが、一度名前が出てしまうと他の対案が出しにくいというのが現状です。

これまで県教育委員会による2回の説明会に生徒会として参加しましたが、私たちの声が十分に届いていないと感じています。

以下の点について質問しますので、後ほど回答をお願いします。

質問

①県教育委員会の最終報告書のなかに「第1通学区の多部制・単位制高校が坂城高校である場合」とあり、第1通学区との連携を前提に考えられていますが、坂城高校以外の案が出てきた場合はどうするのですか。

②「三部制にすることで全日制と同様な時間帯に学ぶことができ」と資料には書いてありますが、全日制と同様なら多部制・単位制にしなくてもいいのではないのですか。

③「交通の利便性」について。小海線は一時間に一本程度しかありませんが（別紙「小海線時刻表」参照）、とても交通の利便性がいいとは考えられません。上小地区から通う生徒にとって本当に「交通の利便性から著しく通学が困難な状況にはならない」と言えるのでしょうか。

④学校の前の道路はとても狭く（車一台がやっとです）、小学生の通学路ともなっており保育園も側にあります。車やバイクでの登下校は危険を伴うと予想されますがどのように考えますか。その上駐車場も狭く駐車台数にも限界があると思われます。

（別紙の「学校周辺地図」をご参照下さい）

⑤「現在も定時制が設置されており」とありますが、全日制と教室を共用しています。完全に独立しているわけではありません。ここを根拠にするのは無理があると思いますがどう考えですか。

⑥「現有の給食設備等も有効に活用できる。」という記述があります。しかし実際のところ食堂は小さいし、大勢が一度に入れるようなスペースはありません。

⑦在校している一人一人の意見をもっと聞き入れてくれてもいいのではないですか。

⑧高校改革の話は「平成15年から進めていた」とのことですが、推進委員会ができたのは5月です。半年程しか審議されていません。もっと慎重に審議するべきではありませんか。

⑨「生徒のために多様なニーズに応える質の高い教育を行う」と言うなら、都市部に新設の校舎を建ててはどうなのですか。

⑩佐久地域周辺には地球環境高校の通信制や上田地区にも新しくそういった関係の学校ができるのに、生徒数の多い南高をなくしてまでも多部制・単位制の学校を作る必要はあるのですか。また南高の全ての校舎をつかうほどの人数は集まるのですか。

⑪多部制・単位制にすると「自分のライフスタイルに合わせて学ぶ時間帯を選択でき、多様な選択科目の中から受講できる」と書いてありますが、クラスでの交流や文化祭などの学校行事ができにくくなるということは、高校時代の交友関係が狭くなるので高校生としては大きなデメリットになると思います。

⑫県教委の人たちは部活ができ大会にもでられるといましたが、3つの部にわかれているのにしっかりとした練習はできるのですか。たとえ部員が集まったとして、練習をしようとしても授業で体育館やグラウンドを使ってしまえば大会のための十分な練習はできなくなってしまうと思います。

⑬本校はもうじき創立100周年になる伝統ある学校です、伝統があることを長野県の誇りに思わないのですか。

南高では、私たち生徒も伸び伸びとしています。そして文化祭は合唱コンクールを含めても人気があり、部活動も新体操部や日本舞踊部など南高にしかないものもあります。中学生の中にも南高に行きたがっている人がたくさんいます。

もっと時間をかけてこの問題にとりくみ、南高のこと、多部制・単位制のこと、地域のこと、中学生のことについて親身にお考え下さい。

以上